

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 多様な状況にある個性やニーズに応じた教育及び教育環境の整備について</p> <p>【質問趣旨】 現在、本市の進める教育アクションプランにおいて、計画を見通す共通の視点として、プランを効果的に推進するため学習指導要領に定めることに加え、「一人ひとりの異なる価値観などの個性を認め合う多様性の尊重」、「学校・家庭・地域と共に、社会全体で子どもを育む横の連携」、「生涯学習社会に向けて、年齢や成長に応じた切れ目のない縦の接続」、そして、「適正な学習環境と魅力ある学校づくりによる信頼の構築」、これら4つを掲げ様々な施策が展開されている。</p>	<p>(1) 発達性読み書き障害(ディスレクシア)について</p>	<p>① 発達性読み書き障害であるディスレクシアは、学習障害のひとつのタイプとされ、全体的な発達には遅れはないものの、文字の読み書きに限定した困難があり、そのことによって学業不振が現れたり、二次的な学校不適應などが生じる障害である。文部科学省が2022年12月に発表した調査結果によると、ディスレクシアは通常学級に在籍する小中学生の7～8%に存在するといわれている。本市ではどの程度把握しているのか伺う。</p> <p>② 「自分はどのようにして読み書きが苦手なのか？」と悩むディスレクシアの疑いのある児童・生徒を早期に発見できるよう取り組むことが必要と考える。現在、学校現場ではどのような検査が行われているのか伺う。</p> <p>③ 学校現場でディスレクシアと思われる児童・生徒が発見された際、どのような行動をとっていくのか、保護者との連携は勿論のこと、医療機関へのスムーズな接続など必要と考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>④ ディスレクシアの障害の困難さを軽減するため、実際に授業など学校生活においてどのようなことがなされ、どのようなことが必要なのか伺う。</p> <p>⑤ このディスレクシアを他の児童・生徒や保護者に誤解の無いよう理解してもらうことが必要と考えるが、そのためにどのようなことを行ってきたか伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3 MS明朝体、12ポイントで記載する。

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>今回、私は第1の視点である、「一人ひとりの異なる価値観、個性を認め合う多様性の尊重」に焦点をあて、多様な状況にある子どもたちが誰一人取り残されることなく、一人ひとりの資質・能力が一層確実に育成できるような教育への転換を期待し、市の見解を伺う。</p>	<p>(2) 学びの保障に向けた不登校対策について</p> <p>(3) 学校等におけるてんかん発作時の口腔用液(ブコラム®)の投与について</p>	<p>① 小中高等学校の不登校の児童・生徒数が、全国でついに約30万人となる中、不登校の子どもを支援していくうえで、その保護者を支援していく事は大変重要であるとする。不登校の子ども保護者であればだれでも参加できて相談できる「不登校の子ども保護者の会」というものが必要とするが、市の見解を伺う。</p> <p>② 教室に行き辛くなった児童・生徒が学校内で落ち着いて学習できる環境「スペシャルサポートルーム」の設置が必要とするが市の見解を伺う。</p> <p>③ 学校の授業を不登校の子どもが自宅やスペシャルサポートルーム、或いはオアシス21等に配信し、オンライン指導できる指導体制の確立が急務とするが市の見解を伺う。</p> <p>④ 不登校の生徒の高校進学を支援するため、自宅やスペシャルサポートルーム、オアシス21等での「学び」を確実に学校の成績に反映させることが、重要であるとするが、市内中学校における、現在の状況と今後の取組みについて伺う。</p> <p>① 文部科学省からの、「児童・生徒がてんかん発作を起こした場合、教職員らが迅速に鎮静させるための治療薬『ブコラム口腔用液』を投与できる」との事務連絡について、各学校にどのように伝達されているのか伺う。</p>

(2 ページ)

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3 MS明朝体、12ポイントで記載する。

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(4) 情報バリアフリーの推進について</p> <p>(5) 学校施設の安全で快適なトイレ整備等について</p>	<p>② プログラム投与に関する医師からの書面指示について、専門的な医師の指示に対して保護者と連携し適切に対処するための職員への研修や、児童・生徒の医療的情報の漏洩防止対策など、学校側がプログラム投与に適切に対応できる体制の整備が必要であると考えますが、市の見解を伺う。</p> <p>① 2022年5月、国では障がい者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が施行されました。本市でも障がいのあるなしに関わらず、暮らしやすく活躍できる街づくりのためには、あらゆる情報のバリアフリーを推進していく積極的な取り組みがされていると考えるが、とりわけ教育現場での取り組みについて伺う。</p> <p>① 文部科学省は令和7年度までに公立学校のトイレの洋式化を95%まで整備するとの目標を掲げています。本市の学校トイレの洋式化の現状と今後の計画について伺う。</p> <p>② 学校トイレの洋式化を計画的に着実に推進すると同時に、多目的トイレ、ウォシュレット付きトイレの整備も併せて推進すべきと考えるが市の見解を伺う。</p> <p>③ 災害時に避難所となる学校施設の災害対策機能の強化の一環として、多目的トイレやウォシュレット付きトイレの設置促進に取り組むことも必要と考えるが、現状と今後の取組みについて伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3 MS明朝体、12ポイントで記載する。